都立高校の魅力向上等に係る懇談会の中間報告について【概要】

懇談会等の概要

◎ **目的**
- 魅力ある都立高校の実現に向けて、有識者等から幅広く意見を聴取
- 専門部会では、グローバル化やデジタル化、多様な生徒を確実に支えるしくみづくり等テーマごとに議論を深化

◎ **委員構成**
学識経験者、産業界、区市教育委員会、保護者、学校関係者　等

◎ **検討体制**
- 都立高校の魅力向上等に係る懇談会
- 都立高校の魅力向上等に係る懇談会 専門部会

◎ **これまでの検討状況等**
- 令和7年11月～令和8年11月
- 懇談会5回
- 専門部会9回
（各専門部会×3回）

※ 令和9年度中に最終報告を公表予定

懇談会等で議論された主なテーマ及び内容

01 国際金融教育の必要性・国際バカロレア教育の充実

・国際金融と国際バカロレアの教育的な特色を生かした学びの意義を深め、**日本語DP**等も念頭に**様々な生徒が挑戦できる学習機会**や**進路支援、外部機関との連携**の在り方について検討していくことが必要　等

02 デジタル人材の育成

・情報分野への高い関心や意欲を持つ生徒が**発展的な学びに挑戦できる機会**を**充実**し、**学びの裾野の拡大**と**高度化を同時**に進めていくという視点が必要
・**高度な情報活用を学ぶコース**の設置は魅力的であり、**モデル的な実践**などを通し、学びの成果等を検証・展開することが重要
・コースのみならず、他の生徒ともPBL等を通じて交流し、多様な知識や発想を掛け合わせながら学べる環境を整備することが必要　等

03 グローバル人材の育成

・語学力に加え、対話力、多文化理解、探究力、世界の課題への関心を一体的に育み、より多くの生徒が自らの関心に応じて**国際的な学びに挑戦できる環境を充実**させていくことが重要　等

04 産業構造の変化に応じた専門人材の育成

・東京に集積する多様な専門学校や大学、企業等とのつながりを深め、**学校や学科の枠を越えて生徒の学びを広げていく**視点が重要
・専門高校では、**企業等と連携**し、**実社会の技術**や**設備**に触れる**実践的な学び**を充実することが重要であり、学校と企業等をつなぎ継続的な連携を支える**コーディネート機能**を整備することが必要　等

05 高大連携の取組

・生徒の興味・関心に応じて**大学の教育研究資源に触れられる環境を広げる**ことが重要
・教員が全てを教えることを前提とせず、大学教員等に委ねる等**学校以外での学習機会**を**コーディネートする役割**も重要　等

06 多様な生徒への対応

・生徒の課題や困難を早期に把握し、教職員や専門職が連携して、**医療・福祉・地域、就労支援**等の**必要な関係機関へつなぐ**ことが重要
・**卒業後の就労・職場定着**を見据え、早期から就労支援や**働く力等を育むプログラムを充実**するとともに、**企業や外部専門人材等と連携**した継続的な支援体制を整えることが重要　　等

07 部活動の充実

・**外部指導者**や**プロ団体等**との**連携**、国内外の優れた指導実践から学ぶ**顧問教員等の研修**、競技・活動の特性に応じた**安全管理**など、指導環境を総合的に整え、**指導者確保と教員負担の両面**を考えることが必要　　等

08 その他

・**都立高校の多様な学校・課程・学科という強み**を生かし、**生徒のニーズや社会の変化に応じた教育機能の充実**を図ることが重要
・**探究的・課題解決型の学び**を進めるため、**大学・企業等**とも**連携**しながら、**教材・カリキュラムの開発、外部人材の活用、指導に関わる教員への支援を一体的に進める**ことが重要　　等

今後の予定

◎「都立高校の魅力向上等に係る懇談会の中間報告」も参考にしつつ、都教育委員会として実現すべき都立高校の改革の方向性を示す「都立高校改革構想 中間まとめ」を年内を目途に作成

都立高校改革構想中間まとめのイメージ

都立高校改革構想中間まとめの策定に当たっては、**生徒一人ひとりの成長を支える教育の充実、様々な生徒の多様なニーズへの適切な支援、変化する社会の中で必要となる資質を育成できる学校づくり、それらを支える教育環境の整備**といった観点から体系的に整理し、具体的な方向性を示していく。